



NPO PTPL “ともいき” 便り No. 204

令和3年（2021年）9月23日発行

■ 秋分（しゅうぶん） 令和3年9月23日から10月7日までの節気

今、このお便りを書いているのは9月15日。ほのかに金木犀の香りが漂ってきます。なんて優しい香りなんでしょう。花の寿命が短いのが残念です。皆さまの周りでは、金木犀の香りがしていますか。ちなみに、花言葉は「気高い人」だそうです。

二十四節気では、9月23日（木）から10月7日（木）まで秋分の節気に入ります。お彼岸ですね。秋分の日を中日として前後7日間は秋の彼岸です。気候の良いこの頃、此岸（しがん、現世）から、仏の世界である彼岸（ひがん、来世）に極楽往生することを祈願し、この期間に墓参りをして、死者の来世における安楽を祈り、霊を慰めます。（ともいき暦より）

我が家もお墓参りに行きます。母方、父方のお墓はもちろんですが、愛犬たちが眠るお墓にも行きます。府中にあるお寺で、合同墓にはいつもたくさんの花束がたむけられています。そして「動物実験で亡くなった動物たち」「学校で飼われていた動物たち」のお墓もあります。どの動物たちにも、「ありがとう」。

今年の十五夜は9月21日（火）でした。十三夜は10月18日（月）です。十三夜は後の月とも言われ、旧暦9月13日の月。十五夜の二日前なので、少し欠けて見えます。栗や大豆が旬の時なので、「栗名月」「豆名月」と言われています。十五夜が中国から伝わったお月見なら、十三夜は日本人が昔から愛でていた国産のお月見です。完璧なまるではない月を美しいと思う日本人の美意識、なんとなくわかるような気がします。十三夜、見られるといいですね。

例年ですと、神社の秋祭りのポスターが貼られているはずなのですが、一枚もありません。昨年に続き、また中止。この季節になると、子どもころ、山車を引いて町を歩いたのを思い出します。クラスの友達も大勢いて、神社に到着すると、袋いっぱいの駄菓子と梨を一つお土産にもらいました。祭りばやし

や大人たちの法被の色の鮮やかさや、夜店の怪しげな明かり、焼きそばやカステラの匂いなどとともに、うれしい気持ちが蘇ってきます。子どもの頃の思い出は、季節とともに五感で記憶されているのですね。嬉しい記憶は、一つ一つは小さくても、積み重なって大きくなって、幸せな記憶として残っていくように思います。そして親に見守られて育ってきたのだなと、改めて両親に感謝したいと思います。ありがとう。

けれども、幸せな記憶を積み重ねられない子どもたちもいます。コロナ禍の今、辛い気持ちを抱えている子どもも多いと思います。大人たちに、「お互いさま」「お世話さま」「お裾分け」の関係があり、「こんにちは」「ご苦労様」などと声を掛け合う日々の近所付き合いがあれば、そういう子どもたちも少しは救われるのかもしれない、などと思ったりします。楽観的過ぎるでしょうか。

秋の虫が鳴いています。季節の移ろいを感じますね。収穫の秋ですから、おいしいものを食べましょう！ 私は新米とお漬物があれば最高。先日、山形のお米（つや姫。新米ではないです）と「晩菊」という名のお漬物をいただきました。説明書に、「大根、胡瓜、せいさい、茄子、茗荷、菊、人参、わらび、しその実、唐辛子を漬け込み、1,2年の歳月をかけて仕上げたもの」と書かれていました。「せいさい」とは山形青菜で漬物用の在来野菜だそうです。それはそれは美味しく、早速注文して友人や家族にお裾分けしました。また、漬物といえば和歌山の「めはりずし」に使われる高菜漬け。林業の盛んな和歌山の地域で、仕事の合間に食べられるよう、大きなおにぎりを高菜漬けで包んだ郷土食です。「目を見張るくらい大きい、おいしい」ということから「めはり」とつけられたそうです。私は一度食べたら病みつきになり、今年も「高菜漬け」を和歌山から取り寄せています。皆さん、おすすめの漬物があったら、教えてください。

今度お便りを差し上げるのは「立冬」です。「立冬」までの満月は、10月20日（水）です。十三夜（10月18日）もお忘れなく。お月さま、見られるといいですね。

皆さま、くれぐれもお元気でお過ごしください。

すとうあさえ（NPOPTPL 会員）

■ともいき・ともうみ・ともさち、そして和。それは日本的なるもの「ジャパネスク」日本人の感覚、ジャパネスク。

◆世界的に気候変動が激しくなっています。

世界的に気候変動が激しくなってきた、自然災害が多くなっています。地球温暖化の影響でしょう。

脱炭素社会への取り組みは時間がかかります。一步一步着実に進めていかなければなりません。

私が心配なのは、自然への畏怖畏敬、祈り、感謝の念を、いまの都会生活者が忘れ去ろうとしていることです。われわれの先人たちが考え、経験し、そして知恵を積み重ね、培ってきたのが「ともいき」です。

現代の都市において、自然との限りない調和はどうしたら達成できるのでしょうか？!!

すべての生命のつながりを重んじて生きる日本人は何処に行ってしまったのでしょうか？!!

先人たちは「ともいき」「ともうみ」「ともさち」そして「和」のジャパネスクを大切に生きてきました。

もう一度、力強くジャパネスクを取り戻し、自信と謙虚さをもって、さらにそれを高め、これから地球上で生きる日本人、そして外国人にジャパネスクの大切さを訴える時期です。

日本 2021 ジャパネスク

「ともいき」、「ともうみ」、「ともさち」、そして「和」。

日本から世界へ、世界から日本へ。和魂世界才へ。

勝田 祥三 (NPOPTPL 理事長)

■事務局便り

やっと秋の兆しを感じられるようになりましたが、9月も雨の日が多く、スカッとした秋晴れが少ないのが残念な今日この頃です。

この便りが届くころは、秋のシルバーウィーク中ですが、長らく続く緊急事態宣言による旅行自粛などで気分転換もままならない日々が続いています。

10月には、緊急事態宣言も解かれ、秋晴れともにスカッとした気分になりたいものですね。

- 日本というものを基盤において活動する NPO PTPL が企画制作運営するサイト・FB をご覧ください。

「NPO PTPL 公式ホームページ」 : <http://www.plantatree.gr.jp/>

「ジャパネスク」 : <http://www.japanesque.tokyo/>

「ともいき暦」 : <http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2020/>

「タピラス」 : <http://www.tapirus.tv/>

「ともいき ぐらし」 : <https://www.facebook.com/tomoikigurashi>

「おらが富士 計画 ふるさと富士山探し」

<https://www.facebook.com/oragafuji/>

「不思議・驚き・魅力のジャパネスク」ともいきチャンネル

<https://www.facebook.com/japanesque.tokyo/>

「日本とは、日本人とは、その心とは何か？」

<http://www.japanesque.tokyo/files/chart5.pdf>

「ともいきチャンネル」 [ともいきチャンネル - YouTube](#)

●会員募集のご案内

NPO 活動（ジャパネスク運動）を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPL では、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。お力添えのほど、どうぞよろしくお願ひします。

詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAXにてお尋ねください。

NPO PLANT A TREE PALNT LOVE 事務局

〒141-0022 東京都品川区東五反田 2-7-11 東都ビル 201 号

■ 電話 : 03-6432-5911 F A X : 03-6432-5912 Email : info@ptpl.or.jp